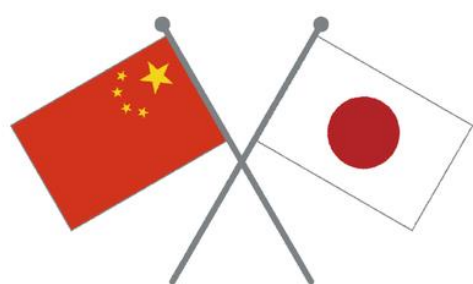


友好都市 中華人民共和国上海市嘉定区

令和6年度 八尾市青少年交流団派遣事業 報告書



もくじ

はじめに	団長 山下 欣春	・・・・・・・・	1
上海市嘉定区について		・・・・・・・・	2
八尾市青少年交流団名簿		・・・・・・・・	3
派遣前行事		・・・・・・・・	4
日程表		・・・・・・・・	6
4 日間の記録		・・・・・・・・	7
団員からの報告		・・・・・・・・	17
（上海市嘉定区訪問を終えて）	石井 来実 神野 詩 唐津 絢千 児玉 結惟 竹本 順智 早川 裕佳子 福井 駿斗 二見 恒康 百田 春花	（久宝寺中学校 2 年生） （龍華中学校 2 年生） （久宝寺中学校 1 年生） （八尾中学校 2 年生） （久宝寺中学校 3 年生） （帝塚山中学校 3 年生） （南高安中学校 2 年生） （曙川南中学校 2 年生） （曙川中学校 3 年生）	
おわりに	副団長 黒井 健之	・・・・・・・・	26

は じ め に

団長 山下 欣春

中国上海市嘉定区とは、1982（昭和57）年に八尾市の訪中団が当時の嘉定県を訪問したことに始まり、さらに1986（昭和61）年に両市区が友好都市締結して以来、長きにわたって交流が続けられております。中でもこの青少年交流事業は、グローバルな視野をもって多様な文化を体験するにとどまらず、両国のこれからの未来を担う若者が相互の理解と友好を深め、こうした経験を通して各々の成長に生かす機会となる素晴らしい取組みであると思っております。

前回は2019（令和元）年に嘉定区の青少年交流団が八尾市を訪れております。その後は、世界的に大流行した新型コロナウイルス感染症の影響により交流を延期せざるをえない状況が続いていましたが、今回、5年ぶりに両市区の青少年交流が再開することとなりました。八尾市からの交流団派遣事業としては、2017（平成29）年以来、実に7年ぶりとなる嘉定区への訪問となりました。

経済活動や最新の技術開発など、近年の成長・発展が著しい中国。その中国を代表する国際都市上海。近代的、また近未来的なイメージと相まって、もとより古くから日本にも伝わりさまざまに影響を与えてきた伝統的な文化や風習、また、数多くの歴史的遺産など、誰もがイメージする中国ならではの風情。11月13日～16日の4日間、実際に現地を訪れ、各所の見聞・交流を通じ、そうした上海の今を実感できる貴重な機会となりました。

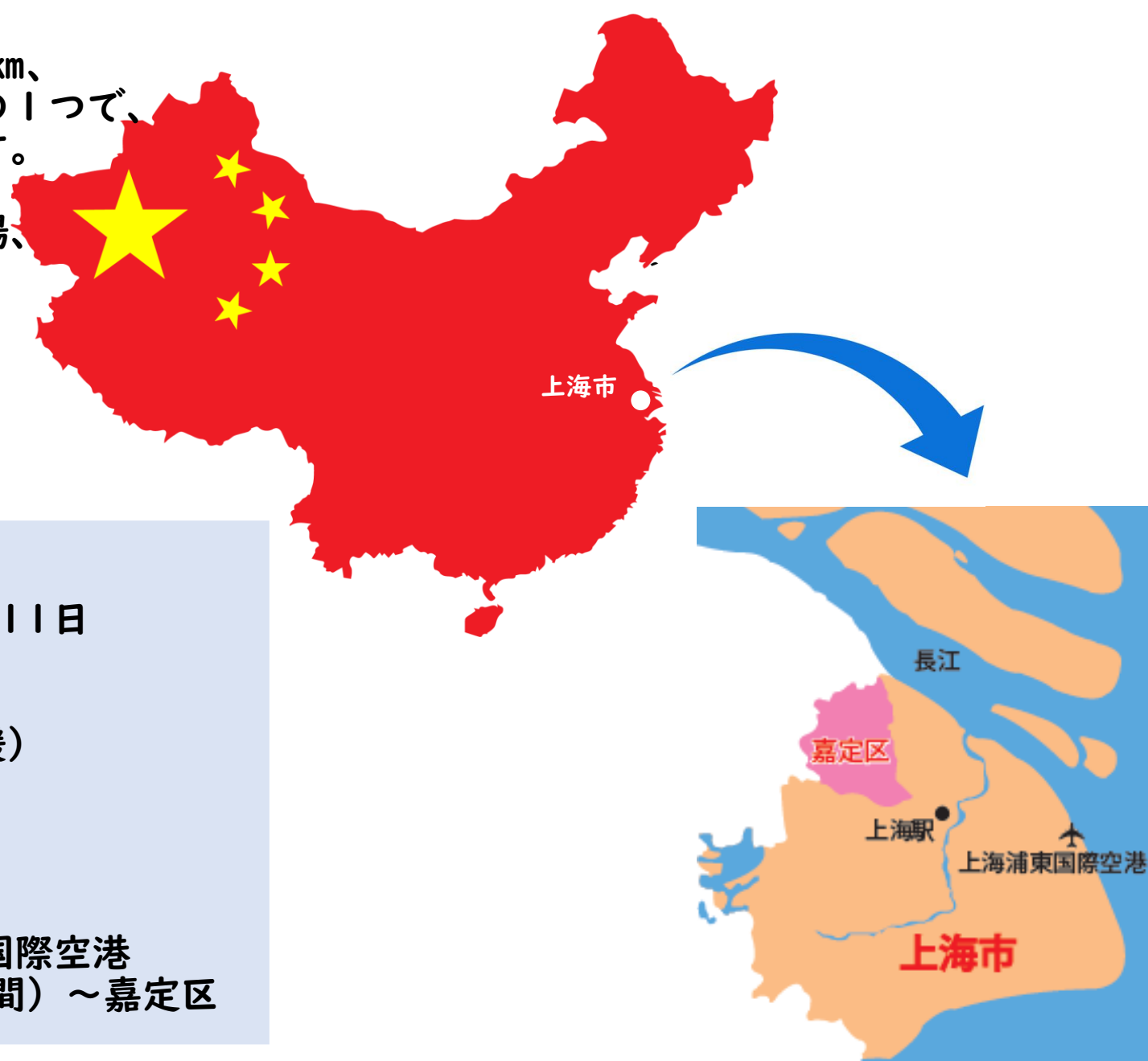
中学生の団員にとっても、長く伝わる中国の伝統文化や現代中国の先端テクノロジーの進化の両方を肌で感じることができ、加えて、現地校での交流や現地中学生のご家庭を訪問してともに過ごした経験は、まさに「善隣友好」を体現化するととても有意義な訪中となったことと思います。

最後になりましたが、八尾市人権ふれあい部人権政策課、八尾市教育委員会事務局をはじめ、上海市嘉定区人民政府外事弁公室の皆さん、上海師範大学附属第5実験学校の生徒やそのご家族の皆さんなど、今回の青少年交流事業にご協力いただいた全ての方々に厚く御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

上海市嘉定区について

嘉定区は、中華人民共和国上海市の西北34km、長江（揚子江）の三角洲に位置する江南古都の1つで、区内には歴史的旧跡が数多く保存されています。

また、多くの科学技術の研究所、大学、工場、高層ビル等が区の中心部に立地しています。現在も高層住宅を中心とした新しい居住区が計画的に建設されており、豊かな街路樹の緑に囲まれた新しい市街地が形成されている発展し続けている都市です。



嘉定区の基本データ

上海市 嘉定区	
市制施行	1992年10月11日
人口	約183万人
面積	約464km ²
平均気温	18.5℃（温暖）
年間降水量	約1200mm
日本との時差	－1時間
【大阪からのアクセス】	
関空～飛行機（約2時間）～浦東国際空港	
～バス（約1時間）～嘉定区	

交流のあゆみ

1978年、日本と中華人民共和国は「平和友好条約」を締結しました。1979年、八尾市において第1次八尾市民各界日中友好訪中国が結成され、歴史、文化のつながりが深い中国の各地を訪問し、上海市革命委員会に友好交流都市の紹介を依頼しました。

1980年には、民間としての交流を始めるために、八尾市日本中国友好協会が結成されるとともに、1982年4月、上海市人民政府から大阪府を通じて上海市嘉定県（現在の嘉定区）を紹介され、第2次八尾市民各界日中友好訪中国が嘉定区を訪問するなど、八尾市民と嘉定区民との市民間交流がはじまりました。

そして、1986年9月に「長期的な友好協力を強化し、経済、文化、科学技術、体育などの方面の友好交流を発展させるため」に友好協力に関する議定書に調印しました。

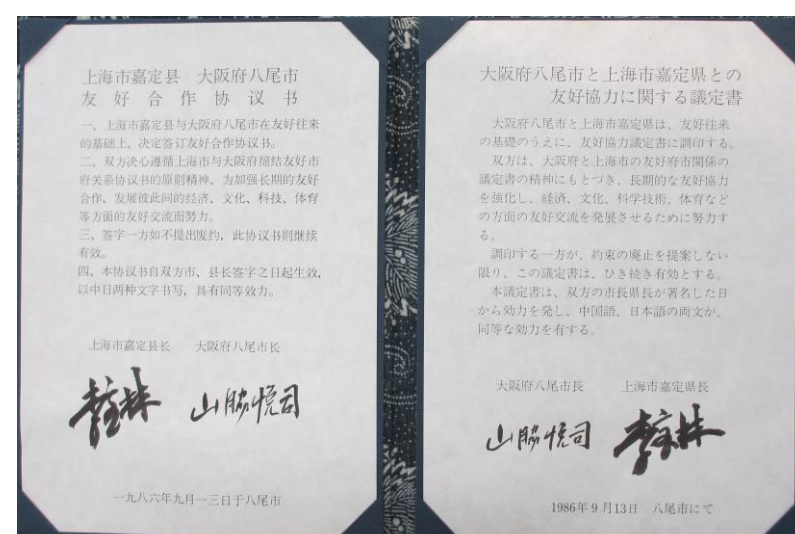
友好都市締結からこれまでの38年間、両市区の職員や市議会代表者などが産業・福祉・教育などの分野で各施設の視察、研修等を行う行政間交流、卓球や野球などのスポーツ交流、絵画や書道をテーマとした文化交流など、数多くの市区民が交流し、友好を深めてきました。

今回の嘉定区への訪問団派遣を含む青少年交流事業は、2002年度から八尾市内に住むすべての中学生を対象にした公募方式に変更し、実施しているものです。

2日目に訪れた嘉定孔子廟の中庭にあった
八尾市から嘉定区へ送られた友好の樹
（1985年10月1日寄贈）



調印された友好交流に関する議定書



令和6年度 八尾市青少年交流団 名簿

	名 前	ふりがな	所 属	
団 長	山下 欣春	やました よしはる	八尾市立曙川中学校	
副 団 長	黒井 健之	くろい たけし	八尾市教育委員会事務局 学校教育推進課	
団 員	石井 来実	いしい くるみ	久宝寺中学校	2年
団 員	神野 詩	かみの うた	龍華中学校	2年
団 員	唐津 絢千	からつ あやせ	久宝寺中学校	1年
団 員	児玉 結惟	こだま ゆい	八尾中学校	2年
団 員	竹本 順智	たけもと しゅんじ	久宝寺中学校	3年
団 員	早川 裕佳子	はやかわ ゆかこ	帝塚山中学校	3年
団 員	福井 駿斗	ふくい はやと	南高安中学校	2年
団 員	二見 恒康	ふたみ つねやす	曙川南中学校	2年
団 員	百田 春花	ももた はるか	曙川中学校	3年
事務局	富田 貴之	とみた たかゆき	人権ふれあい部 人権政策課	
添乗兼通訳	金 美香	きん めいしん	株式会社エイチ・アイ・エス 関西公務法人営業所	

派遣前行事

①



フライパンのできる様子を見学



藤田金属の取組みから
SDGs を勉強中



入口の大きなフライパンの前で
集合写真

- ①8月23日（金）藤田金属（株）見学
- ②9月6日（金）第1回ワークショップ
- ③10月12日（土）第2回ワークショップ
（嘉定区とのオンライン交流）
- ④11月8日（金）市長・教育長表敬訪問
- ⑤11月8日（金）
八尾市日中友好協会による激励

②



八尾市の万博担当の職員から
大阪関西万博について説明



発表資料のつくり方を勉強



資料を使って発表の練習

③



はじめは緊張しながら
上海の中学生とコミュニケーション



相手の英語を頑張って聞き取り中



メタバース空間を利用して交流

④



みんなを代表して神野団員が挨拶



市長からミャクミャクと手紙を受け取り



市長&教育長を入れて記念撮影



教育長から激励の言葉をいただきました

⑤



パスポートケースをもらいました



日中友好協会
岡田会長から激励の言葉



代表して挨拶する竹本団員



岡田会長を囲んで記念撮影

八尾市青少年交流団 日程表



日 付		現地時間	スケジュール
1日目	11月13日（水）	08:20 09:45 12:10 14:05 15:45 17:00 18:00 19:30 20:30 21:15	集合：八尾市役所 正面入り口（マイクロバス） 関西国際空港到着 関西国際空港より（HO1334便）上海浦東国際空港へ 上海浦東国際空港到着→嘉定区 上海万博博物館へ移動 上海万博博物館 見学 上海市内レストランへ移動 夕食 上海馬戯城（サーカスパフォーマンス）観覧 ホテルへ移動 ホテル到着→チェックイン 【藍宮大飯店 泊】
2日目	11月14日（木）	08:40 08:50 09:00 10:00 11:00 11:45 12:45 13:30 15:10 15:45 17:00 17:45 19:00	ロビー集合 出発 嘉定博物館 見学 嘉定孔子廟 見学 嘉定区 区役所 表敬訪問 歓迎会 嘉定図書館新館 見学 嘉定企画展示館 見学 無人運転自動車体験 上海自動車博物館 見学 出発 上海自動車博物館→上海市内レストランへ移動 夕食 ホテル到着 【藍宮大飯店 泊】
3日目	11月15日（金）	08:40 08:50 09:15 10:30 11:15 12:30 15:00 17:00 21:00	ロビー集合 出発 南翔老街（南翔鎮旧町）探索 南翔小籠包作り体験 昼食 MEGA INCITY（ショッピングモール） ※自由活動（2時間）単独行動をしてはいけません。 集合、点呼→上海師範大学附属第五実験学校へ移動 ※集合時間と場所は、現地で指示します。 15:00 上海師範大学附属第五実験学校訪問 ※校内視察、交流、八尾市の紹介（プレゼンテーション）など 17:00 ホームビジット（1人1家庭 夕食含む） 21:00 ホテル集合→点呼後 解散 【藍宮大飯店 泊】
4日目	11月16日（土）	07:30 07:45 08:45 11:45 15:00 17:00	ロビー集合 ※朝食は6：30から食べられます。 出発 上海浦東国際空港到着 上海浦東国際空港より（HO1621便）関西国際空港へ 関西国際空港到着→八尾市役所へ移動（マイクロバス） 解散（予定）

八尾市青少年交流団派遣事業 4日間の記録

11月13日（水）1日め

①



出発前に市役所に集合



マイクロバスで関空に出発

①八尾市役所出発

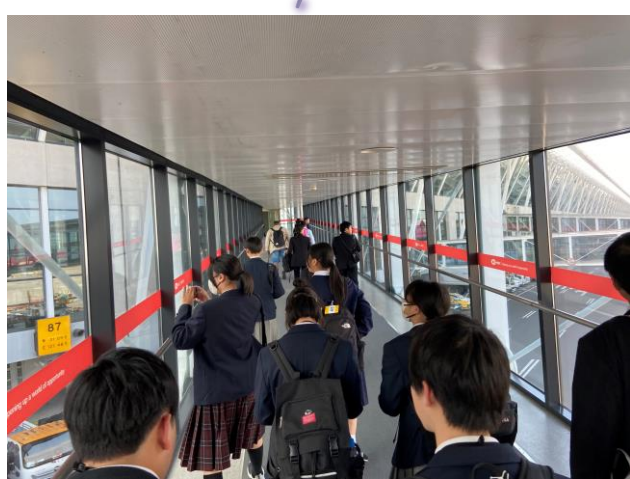
②上海浦東国際空港到着

③上海万博博物館見学

④齊家ガーデンホテルで夕食

⑤上海馬戲城（サーカス）観覧

②



上海浦東空港に到着

④



驚くほど豪華なレストラン



大きな円卓を囲んで食事



空港を出てバスに乗り込み移動



日本と違うお店の雰囲気ドキドキ

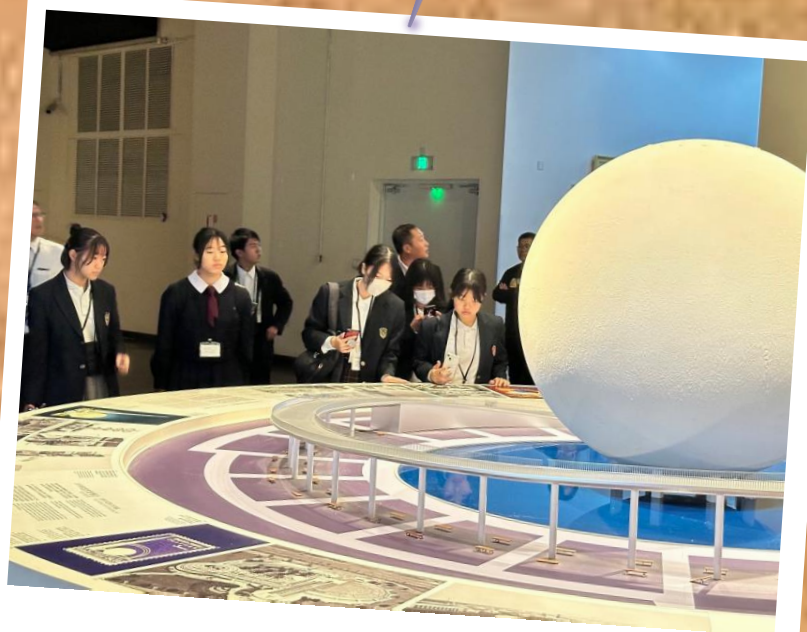


豪華なソファで記念撮影

③



近未来的な建物の万博博物館



これまで開催された万博について勉強

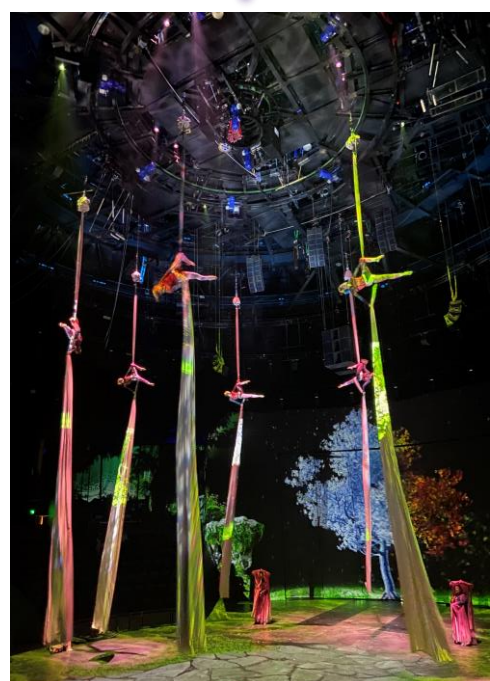


たくさんの展示物で見どころいっぱい



2025大阪・関西万博のボードもありました

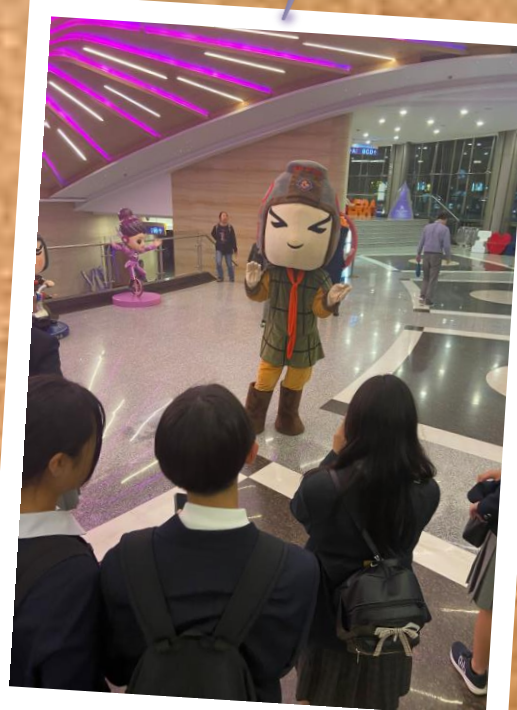
⑤



繰り出される数々の大技



特徴的な建物のサーカス会場



上海馬戲城のキャラクター

11月14日（木）2日め

①



嘉定区の生活習慣等を学びました



嘉定区の成り立ちも知りました

①嘉定博物館見学

②嘉定孔子廟見学

③嘉定区 区役所 表敬訪問

④歓迎会（嘉定区役所で昼食）

⑤嘉定図書館見学

⑥嘉定企画展示館見学

⑦無人運転自動車体験

⑧上海自動車博物館見学

⑨火鍋レストランで夕食

②



世界中に影響を与えた
科学制度について知りました



孔子廟の前で集合写真



孔子像を写真に収める団員たち

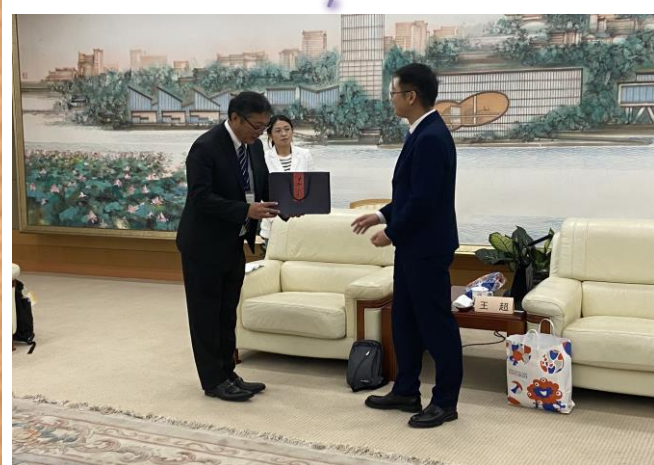
③



副区長を前に団員全員が緊張



市長からの手紙を渡しました



嘉定区から記念品をいただきました

④



想像以上の大きな区役所でした



区役所の中にある
豪華なレストランで昼食



副区長と一緒に食事を取りました

⑤



ホールが併設された大きな図書館



入口で説明を聞きました



光がたくさん入る館内に感動

⑥



アトラクションをみんなで体験



みんなで自転車に乗りました



上海の街並みを走りました

7



多数のセンサーを駆使した自動運転



道路清掃車の遠隔作業を見学中



自動運転中の車を体験

8



乗り物の進化について学びました



はじめて見たオールドカー



高級な車がたくさん展示

9



たくさんの薬味が用意されていました



日本の鍋とは具材も違いました



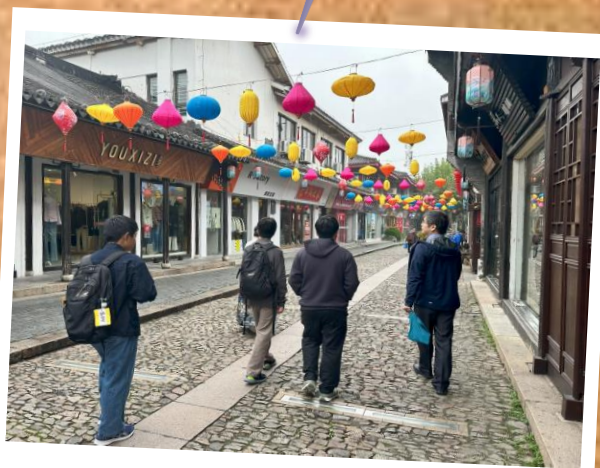
目の前で麺づくりのパフォーマンス

11月15日（木）3日め

①



嘉定南翔双塔



昔ながらの街並みを探索



建物の中に入ることができました

①南翔老街探索

②南翔小籠包づくり体験

③レストラン「百花乃里」で昼食

④MEGA INCITY（ショッピングモール）

⑤上海師範大学附属第5実験学校訪問

⑥八尾市からの発表

⑦クラブ体験

⑧ホームビジット

②



中国の伝統的な家屋のお店



見本を見せてもらいました



包むのが難しかったです



中に入れる具の量がポイント



皮の作り方から教えてもらいました



おいしい小籠包が完成！！

③



小籠包食べた後の昼食で
おなかがいっぱい



円卓に並ぶたくさんの料理

④



ゲームセンターも
ありました



あっという間の2時間でした

⑤



出迎えの歓迎をしてくださいました



学校の教育理念を教わりました



受入れの御礼に記念品を渡しました



学校をバックにみんなで記念撮影



よろしくお願いします



嘉定区の中学生に渡す
お土産を用意しました



はじめての会話にドキドキ

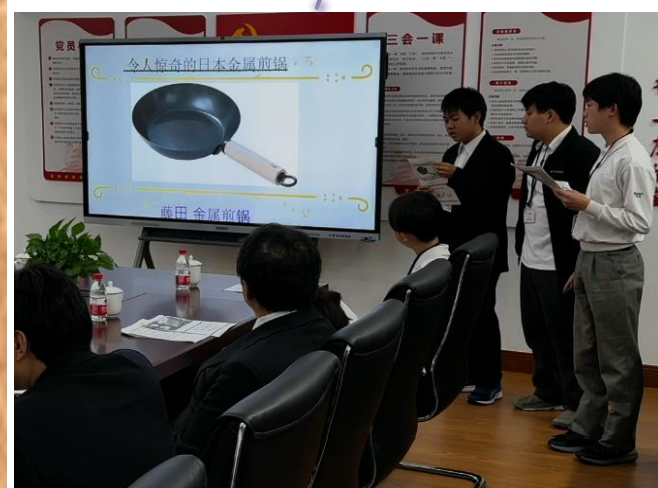
⑥



SDGsについて知ってもらいました



B班の発表



藤田金属のフライパンから
SDGsについて説明しました



A班の発表



C班の発表



万博での発表についても伝えました

⑦



難しいプログラミングクラブの授業



3人で民族衣装を着せてもらい撮影



ルールなどを教えてくれました



グラウンドも整備された大きな学校

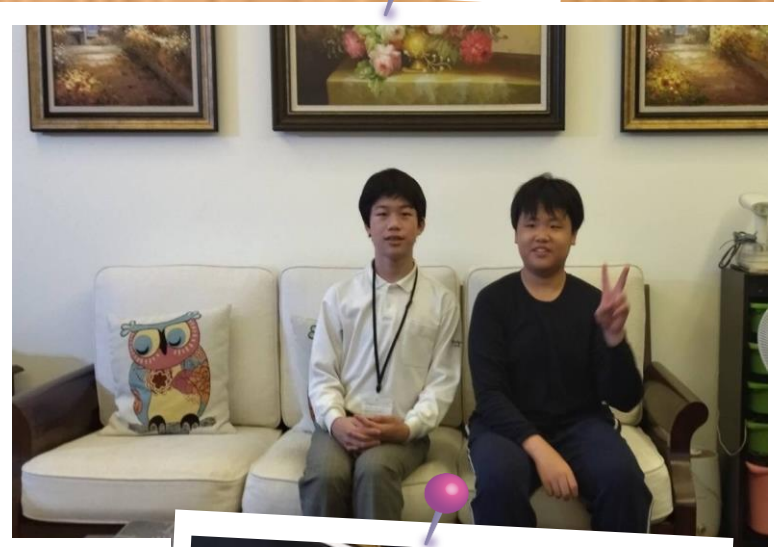


民族衣装の着方を勉強中



ダーツを体験中

⑧



11月16日（土）最終日

①



綺麗で大きなホテルでした



夜のお菓子タイム



朝からお腹いっぱい



朝食はバイキング

①ブルーパレスホテルを出発

②上海空港から関空へ帰国

③八尾市役所で解散

②



4日間滞在した上海とお別れ



帰りの飛行機の中ではぐったり



やっとスマホが自由に使えました



関空でスーツケース待ち

③



久しぶりの家族との対面



みんな無事に帰国できました

上海市嘉定区訪問を終えて

石井 来実

私が八尾市青少年交流団で中国に行って印象に残ったことは、二つあります。

一つ目は、中国で食べた料理です。やっぱり日本で食べる中華料理とは全然違っていて驚きました。行く前は食べられるものが無かったらどうしようと心配だったけれどおいしく食べられたので良かったです。また、鶏の頭が丸ごと入った料理が出てきて衝撃的でした。日本では魚の頭は出てきても動物の頭はなかなか出てこないの、やっぱり日本と中国の食文化は違うのだなと実感しました。ご飯を食べる時に毎回フルーツが出てきて、中国はそんなにフルーツが有名なイメージは無かったので意外でした。私はあまりフルーツが好きではありませんが、二日目の昼食の時に出てきたぶどうとスイカがとてもおいしくて感動しました。

二つ目は、ホームビジットです。家族の人達が優しくて、大阪から持って行ったお土産も喜んでくれたのでうれしかったです。また、家が豪華だったのでびっくりしました。最初家に着いたときはすごく緊張していてカチコチだったけれど、卓球を一緒にしようと言ってくれて、しているうちにいつの間にか緊張がほぐれていきました。ホームビジット先のお母さんが作ってくれた料理もおいしかったです。夕食のあともココナッツのジュースをくれたり、一緒にアニメの「呪術廻戦」を見たりしてすごく楽しかったです。中国で日本のアニメが人気だと聞いていたけれど、本当に学校の人たちもみんな好きだったので日本のアニメはすごいと改めて感じました。そのあとに市場のようなところに連れて行ってくれました。そこで、一緒に写真を撮ったり、中国のパンを買ってもらったりしました。パンは、中に肉が入っていておいしかったです。帰る時にはお餅をたくさんくれてすごくうれしかったです。お餅は日本に帰ってから家族でおいしく食べました。

交流団で過ごした四日間は長いようで短かったけれど、とても良い経験が出来ました。応募した時は自分が本当に中国に行くことになるなんて思っていませんでした。でも、派遣団に選ばれて本当に良かったです。中国の方たちとたくさん交流できて日本とは違う文化を知れました。また、日本のことが嫌いな中国人もいることを知っていました。けれど、会った人たちはみんな日本人に友好的で良かったです。次に上海に行く機会があればホームビジットで会った家族の人たちに会いたいです。今回、中国に行けて本当に良かったです。

上海市嘉定区訪問を終えて

神野 詩

上海で過ごした4日間はとても濃厚で貴重な時間でした。

飛行機から降りると、日本とはどこか違う雰囲気を感じました。ここは日本ではないということがたしかに分かりました。

1日目の一番の思い出は、夕食後の上海馬戲城でのサーカスパフォーマンスです。時間の経過を感じさせない、とてもワクワクしたもので、胸が踊りました。

2日目は嘉定博物館と嘉定孔廟で中国や嘉定区の歴史を学んだのちに、嘉定区区役所へ表敬訪問に向かいました。建物の厳かな雰囲気に少し気圧されてしまいましたが、そのあとに食べた昼食、特にお餅がとても美味しかったため、その感情はいつの間にか忘れてしまいました。

3日目で最も楽しかったのは、やはり小籠包作りです。一時期は小籠包職人を志していた時期のあった私も、これを機にその道を諦めたくらいには難しかったです。そのため、この日のお昼ご飯に食べた小籠包には思わず敬礼をするところでした。昼食のあとは上海の学校へも行きました。とても大きな学校で、私の通っている中学校とは比べ物にならないほど教室の数も多く、日本にはあまりない、ダーツなどの部活動があったことが印象に残っています。私も一度は、あんな大規模な学校に通ってみたいです。

中国に着いてから帰るまで、どこを切り取っても本当に有意義な時間でした。これらのたくさんの経験の中でも、3日目のホームビジットは特に学びの多いものだったと思います。言葉の壁にはとても苦戦し、英語が伝わらないこともありました。とても大変でしたが、ジェスチャーなどを使ってなんとかしました。相手に感情を伝えるための選択肢が増えた気がします。家庭でいただいた夕食は美味しいだけでなく、その家族の暖かさが感じられ、これまでレストランなどで食べた料理とは違った魅力がありました。また、ホームビジット先の子と中国語と日本語を教えあったのは、学校での友達とはできない貴重な経験です。今でも鮮明に思い返すことができるのは、夕食後に一緒に見て回った上海の街並みです。これまではバスでの移動が多く、窓を隔ててしか見ることが出来なかったのも、長時間自分の足で道を歩き、音を聞くことができるととても嬉しかったです。実際にお店で買い物をして食べ歩きをするなど、街の雰囲気を肌で感じる事が出来ました。

私はこの4日間をととても楽しく、価値のある時間に出来たと思っています。

上海市嘉定区訪問を終えて

唐津 絢千

わたしは、中国と日本の文化の違いを知りたいと思って中国へ行きました。中国と日本とでは、人口も面積も全然違っていますが、中国は一人っ子政策が続いていて、技術の進歩がそれほど進んでいないのではないかと思っていましたが、想像とは真逆でした。中国に行って驚いたことは三つあります。

一つ目は、日本とは建物の大きさが段違いだったことです。どの建物も日本で言うあべのハルカスくらいの高さですごくびっくりしました。

二つ目は、自転車に乗っている人が少なかったことです。一般道を通っていると、自転車ではなく車やバイクの方がだんぜん多かったのでびっくりしました。

最後に一番驚いたことは、中国の一般道には道路を清掃するロボットがいたことです。そして車も、安全運転ができる自動運転車が多いことから、人手不足だったからこそその技術がこの無人清掃ロボットや、無人運転車だと気づきました。

中国の上海万博博物館ではまず、建物の大きさに驚きました。博物館では、万博の歴史や、建物などたくさんのが展示されていました。万博は遥か昔からやっていることを知って、万博にさらに興味がわきました。

ホテルでは、トラブルはあったものの過ごしやすい環境でした。ホテル内では、部屋のカードキーが必須で、日本のホテルもカードキーを持っていかないとご飯が食べられなかったり、エレベーターを使うのにもキーがいるなど、ホテルは似ていると感じました。

しかし、中国のレストランでは日本とは違うと感ずることがありました。それは、味付けの違いです。日本と中国では使う食材は一緒でも味付けが違ったことが印象に残りました。たとえば北京ダック、日本ではあまりない独特な味がして、クセになりました。独特の正体を知りたくて日本に帰って来てから北京ダックの調味料を調べると、日本の家庭ではあまり使われない八角という調味料が使われていることがわかりました。

中国に行って私は、人々の温かさに触れました。ショッピングモールでの買い物の際のことなのですが、私は中国語がわからないので曖昧な英語で言葉を伝えていました。それに店員さんは笑顔で微笑みながら、英語と身振り手振りで私にも理解できるように言葉を伝えてくれました。どこの店員さんも愛想が良く、とてもいい人ばかりでした。

ホームビジット先の家族の皆さんは、とても親切でした。家族のみなさんから貰ったおみやげは、中国の伝統的なしおりでパンダの絵が描かれていてとても可愛らしかったです。夕ご飯は手作り料理で、自分のことを気遣ってすごく豪華で美味しい手料理を作ってくれていたのでありがたかったです。お邪魔させて頂いた家の中には、日本のアニメのグッズなどがあって、中国でも日本のものは流行っていると分かりました。

4日間という短い間だったけど、中国の文化を知ったり、交流したりできて、とても楽しかったです。

上海市嘉定区訪問を終えて

児玉 結惟

私は先月、中国の上海に行きました。中国に行って思ったことや楽しかったことは3つあります。

1つ目は中国と日本の違いについてです。日本で普段、食べている料理は、質素でありあまり良いイメージを持たない人の方が多いけど、中国はそんな日本とは全然真逆で、豪華で華やかなイメージがある。でも味は日本のが慣れていて私の口に合う料理が少なかったです。私が一番印象に残っているのは、北京ダックです。私は作るのが失敗してほとんどキュウリの味しかなかったです。次、作れる機会があればまた挑戦したいです。

次は、日本の学校と中国の学校の違いです。本来、日本の学校で授業が終わるのが4時くらいなのに対し、中国の学校で授業が終わるのが6時くらいらしいです。私はこれに対して思ったことが1つあります。

それは、6時まで何勉強すんの？ってことと、こんなに勉強しているから、みんな頭良いんや！！って思った。

2つ目は小籠包作りです。私自身もぎょうざなどは作ったことあるが小籠包は初めて作るからワクワクと楽しみがありました。でも小籠包は見た目からして難しそうで、いざ「作るぞ！！」の時も思った通り難しくて失敗ばかりでしたが作るにつれ、だんだんと慣れていきとても楽しかったです。味もとてもおいしかったけど、職人さんが作る小籠包には敵わなかったです。

最後に3つ目は、ホームステイに行ったことです。私がホームステイに行くのは人生で初めてだったので、とても心配でした。それプラス外国って言うのもあってうまく話せるか不安でした。私が今回、ホームステイに行ったのは、ムーンと言うやさしい女の子の家でした。ムーンは私の2つ下の子なのに勉強もできて英語もペラペラでなんでもできる子です。でもムーンは少し静かな子だから仲良くできるか心配でしたが、すごくたくさん話しかけてくれてすぐ仲良くなりました。

その夜はムーンのお父さん、お母さんと外食に行ってすごくおいしい料理をたくさん食べました。その後、ムーンの家で笛を吹いたりフルーツやケーキを食べたりとにかく楽しかったです。でも楽しい時間はすぐに過ぎておわかれの時間が来てとても寂しかったです。でもムーンのおかげでとても良い1日になりました。

今回の経験を今後に生かせるかを考えていきたいと思います。面接の時も言った通り知らない国で言葉も通じないけど、今回、中国の中学生やお店の定員さんに頑張ったらジェスチャーで通じるってことがわかった。

2025年の大阪万博で今回学んだことなど発表できるように頑張ります。

上海市嘉定区訪問を終えて

竹本 順智

今回、八尾市青少年交流団の一員として中国の上海市嘉定区を訪問して中国の伝統的な衣食住を含めたたくさんの事を学ぶことができました。嘉定区に行く前は学校訪問やホームビジットをすると聞いていて、現地の人とコミュニケーションをとることができるか、食事はどのようなものかなど不安な面もありました。

しかし、実際に嘉定区を訪れてみると、それらはすべて杞憂であり、現地の方々は私たちの話を理解しようと努力してくださり、何が言いたいのかを聞き返してくれるおかげで、通訳者がいない間のホームビジットでも問題なくコミュニケーションをとることができました。

元々、中国に行ってみたいという気持ちから応募した今回の企画では、単に中国に行って交流するだけでなく、八尾についても多くのことを学ぶことができました。藤田金属さんを訪問するなどして、八尾のことについて理解を深めることができたため、中国へ行った際には嘉定区との文化の違いをより明確に感じることができました。

嘉定区の食べ物も非常に美味しかったです。地元の料理を楽しみましたが、特に小籠包が絶品でした。小籠包はその発祥の地で食べることができ、熱々の汁が中から出てきて、とても美味しかったです。また、小籠包は食べるだけでなく、実際に作ることも体験しました。肉の量を調節したり、皮を広げたりするのは難しかったです。特にひだをつけるのが難しかったです。

学校の授業や日常生活についての話を通じて、中国の教育システムや文化について多くのことを学びました。上海では小学校が五年、中学校が四年制であることを知りました。中国では良い大学への競争が非常に激しく、学歴が仕事に大きな影響を与えるため、中学生から良い大学に進学するために努力を惜しまない姿勢には感心しました。

また、食文化や祭りなどの話を通じて、日本と中国の文化の違いを実感しました。特に食事の際に提供される料理やそのマナーについての話は興味深く、実際に現地の料理は日本とは異なる味付けがされている物が多かったです。辛い料理や独特の調味料を使った料理は、私にとって新しい体験でしたが、彼らの文化を理解する良い機会となりました。

今回、最先端の技術を見せていただいたり、異文化を体験したりするなど、貴重な体験をさせていただきました。異文化を感じたり、言葉が通じない相手とコミュニケーションをとったりすることは、一生忘れない素晴らしい経験になったと思います。

上海市嘉定区訪問を終えて

早川 裕佳子

この4日間の中国派遣で文化の違いや共通点などたくさんすることに気付きました。その中でも印象に残った2つのことについて書きたいと思います。

1つ目は、食文化の違いです。この食文化の違いという点については八尾市青少年交流団の派遣応募の理由の一つでした。1日目には上海市内のレストランに行きました。レストランの広さは日本の面積の26倍、そして人口は14倍という中国にふさわしくとても大きく、日本の中華料理屋さんでよく見かける円卓がたくさん並んでいました。私達は大きな円卓が1つある個室だったのですが、驚いたことにトイレが各個室に1つずつ設置されていました。料理は基本的に甘い味付けが多く、いつも日本で食べている中華料理とは異なる味がしました。そして料理の品数はとても多く、大皿で食べきれないほどの量でした。中国では少し食べ残すことが良しとされており、残さず食べきるのがマナーとされている日本とは大きく異なる点であると感じました。また、嘉定区区役所の中でいただいた昼ご飯の時には、もともと用意されていたお皿の上に運ばれてきたお皿を重ねて食べるという形式にも驚きました。

2つ目は上海の街やホームビジットについてです。上海の街並みは地域ごとに似ている背の高い建物が多く、一軒家は少ない印象を受けました。また木造建築ではなくコンクリートが多かったです。移動手段も多様で、バイクや車、自転車、モノレールなどが日常的に使われていました。特に車の中からも電気自動車で移動する人や路上に置いてあるレンタル自転車を利用する人も多く見かけられました。ホームビジットでは、最初は緊張していてあまり話せませんでしたでしたが共通の話題があり、そこからすぐに仲を深めることができました。交流した子の中学校では毎日宿題がオンラインで投稿されているようであまりの多さに驚くと同時に自分もこれまで以上に頑張らなければとも思いました。夕食後、お父さんが夜の街に連れて行ってくださいました。上海の街は屋台などとても賑やかで昼とはまた別の美しい光景でした。帰宅するとお母さんが私のためにわざわざケーキを焼いてくださっていました。温かいホスピタリティにとっても感激しました。

短期間でしたが、中国の文化や人の温かさを知る貴重な経験ができました。本当にこの派遣に関わってくださった方々には感謝しかありません。ありがとうございました。

上海市嘉定区訪問を終えて

福井 駿斗

空港は広くて、たくさんスペースもあって、日本とは違う匂いがしました。入国までに指紋認証や書類の記入などに時間がかかり、少し不安でした。

「自分の命も大切だけれど、パスポートも同じくらい大事だから盗まれないように気をつけてください。」と先生に言われて、緊張が増大。これから楽しく過ごせるだろうか…

中国で楽しみにしていたことは、本場の食文化に触れること。あとは、車の無人運転体験が楽しみでした。すべての料理は豪華で、特においしかったのはアワビ。ただ残念なことは、朝はビュッフェ、昼食、夕食も贅沢な料理が続き、お腹が空く暇もなかったことです。小籠包を作る教室では、小籠包の生地が油がかかっており生地を伸ばすのに必要なことを学びました。

車の無人運転に乗った時は、本当に革新的で驚きました。中国の車はすべて電動で、バイクも電動なことにびっくりして、SDGsが進んでいるのだと思いました。

ホームビジットも強く思い出に残りました。訪れた家の家族は、とても仲が良さそうな家族でお父さん、お母さん、おじいちゃん、息子が住んでいました。晩ご飯には、北京ダックやカリフラワーと小松菜の炒め物、小さいスペアリブ、ご飯を用意してくれて、すごく嬉しかったです。夕ご飯の後、バスケットをしに出かけました。バスケットコートから見る高層ビルが建ち並んでいる風景は圧巻でした。ゲームセンターに一緒に行って100円でUFOキャッチャーをしまくり、人形をたくさんとったこともいい思い出です。ただ、全く英語が通じず、家族が中国語で話している間意味がわからず不安な気持ちにもなりました。その時、日本語を勉強しに来ている僕のいとこのことを思い出しました。いとこはメキシコ人なので日本語が全くわかりません。僕の家に来ていた時に、いともこんな気持ちだったのではないかと思いました。そして、日本に来ている外国人も、こんな気持ちでずっと生活しているのだと気づき大変さを思いました。

今回の中国派遣では、中国の家庭や学校、文化について知ることができて良かったです。もっと身近に感じる国になり、中国の未来がどうなるのかも興味が沸きました。

上海市嘉定区訪問を終えて

二見 恒康

私は今回の嘉定区での交流にて、実際に行くことでしか得られない知識や体験をすることができ、非常に良い経験になりました。その中でも、特に印象に残った点が四点あります。

一点目は、一日目の上海馬劇城でのサーカスパフォーマンスです。理由としては、九つのタイプの演目を見ることができ、その演目一つひとつが非常に華やかで、美しかったからです。その中でも、シーソーを用いて人を飛ばして宙返り等を行う演目が躍動感満載だったため、印象に残りました。

二点目は、二日目の上海自動車博物館の見学、無人運転自動車の体験です。理由としては、博物館では、世界の名車、珍車が勢ぞろいで、自動車第一号から中国自動車文化の変遷まで、様々な車や歴史を、実物を見ながら学ぶことができたからです。中にはベンツやポルシェ、フェラーリ等の高級車も目に焼き付けることができました。無人運転自動車では、なかなか経験できない無人運転に乗車することができ、驚愕したからです。

三つ目は、三日目の南翔老街での小籠包作り体験です。理由としては、日常生活ではなかなか作ることのない小籠包を、お店の方のアドバイスをもらいながら作ることができたからです。私自身は餃子を作ったことがあったので簡単だと思っていたのですが、いざ体験してみると形状を保つのが難しく、あまり上手にできませんでした。最後にお店の方が作ってくださった小籠包を口にしてみると、皮の硬さが丁度良く、噛んだ瞬間口の中に肉汁があふれ出て非常に美味でした。

四つ目は、その後の上海師範大学附属第五実験学校訪問、ホームビジットです。理由としては、学校訪問では、嘉定区の中생生たちと交流し、様々な経験を得ることができたからです。まず、初めに嘉定区側の中学校の紹介を聞き、その次に八尾市側の発表をしました。少し緊張しましたが、皆さんの前で発表することができました。その後は学校の様々な場所を訪れ、クラブ(ダーツ)を体験しました。初めて体験したダーツは非常に難しく上手く的に刺さらないこともありました。ペアになった嘉定区の友達には、フォームや狙う場所を教えてくださいました。クラブが終われば嘉定区の友達のお母様に会い、車に乗り家にお邪魔しました。すると、家ではお父様が暖かく出迎えてくれました。その後、ご家族と一緒に食事をしました。出された料理全てが美味でした。その中でも、初めて食べた上海蟹は、非常に濃厚でまろやかな味わいでした。その後に友達と近所の駅を、たくさん話をしながら散策しました。家に戻れば、ご両親からのおくり物をもらい、非常に嬉しかったです。お別れの時には、お父様と厚い握手を交わしました。その後車に乗り、友達と連絡先を交換して、二人と別れました。短い間でしたが、相手のご家族には何から何まで本当にお世話になりました。

私は今回の嘉定区での交流にて、実際に行くことでしか得られない知識や体験をすることができ、非常に良い経験になりました。次は、大阪万博での講演を目標に頑張っていこうと思います。

上海市嘉定区訪問を終えて

百田 春花

今回、八尾市青少年交流団として中国に4日間派遣され、たくさんの貴重な経験をすることができました。この旅では、中国の文化や歴史、その他にも沢山のことに触れ、現地の人たちと交流する中で、多くのことを学びました。このような機会を頂けたことに心から感謝しています。

まず、訪れた博物館では、中国の長い歴史や伝統文化などについて学ぶことができました。展示物の中には、日本との関わりが深いものも多くあり、とても興味深かったです。ガイドの方が一つ一つ丁寧に説明してくださったおかげで、歴史を身近に感じることができました。また私たちが普段、目にする事の無い中国の地域文化や伝統に触れたことで、自分たちの文化との違いや共通点を改めて考えるきっかけとなりました。

その後、図書館を訪れた際も印象的でした。広々とした館内にはたくさんの本や資料が並び、幅広い世代の人がたくさん学ぶ姿が見られました。日本の図書館とは少し違う雰囲気、本だけでなく、学びと交流の場として機能していることがよくわかりました。地域社会に根付いた図書館の役割を感じ、私自身もっと読書に親しみたいと思いました。

またサーカスのショーも心に残る体験でした。アクロバットやバイクを使った演技は迫力満点で、目を奪われました。演者の方々の技術の高さに感動しました。パフォーマンスを目の当たりにする機会は日本では少ないため、貴重な時間となりました。

食事も大きな楽しみの一つでした。中国の料理は日本のものとは味付けや調理法が少し違い、どれも新鮮に感じました。特に、円卓を囲んでみんなで料理をシェアするスタイルが楽しかったです。

さらに、ホームビジットの体験も心に残っています。現地のご家庭にお邪魔して、一緒に過ごす中で、日常生活や家族のつながりの大切さを感じました。温かく迎えてくださり、交流する中で、言葉の壁を越えて心が通じ合う瞬間が何度もありました。

この派遣で特に感じたのは、人とのつながりの大切さです。一緒に参加した仲間や現地の人々と協力し、交流する中で、新しい視点を得ることができました。今回学んだことを、これからの生活や地域活動に活かしていきたい、さらに成長していきたいです。

おわりに

副団長 黒井 健之

令和6年度八尾市青少年交流団は、平成29年度以来7年ぶりに11月13日から四日間の日程で中華人民共和国の上海市嘉定区を訪問しました。

今回の訪問にあたっては、21名の応募があり、選考の結果9名の代表者が訪問することとなりましたが、久しぶりの訪問に生徒たちの関心の高さを感じました。

私たち交流団は、1日目に上海万博博物館を訪問し、万博の歴史を深く学びました。2010年の上海万博を記念して作られたこの博物館は、19世紀半ばから現在に至るまでの万博の歴史や特徴を展示しており、特に上海万博の業績が印象的でした。また、博物館内には、2025年に実施される大阪・関西万博の公式キャラクターであるミャクミャクのパネルも飾られており、万博の歴史が脈々と受け継がれていることを実感しました。

2日目に嘉定博物館を訪問しました。嘉定博物館は、嘉定区の歴史と文化を紹介する総合博物館であり、書画や陶器、青銅器などの貴重な文物が展示されており、嘉定区の豊かな歴史を感じることができました。次に、嘉定孔子廟を訪問しました。嘉定孔子廟は、上海市嘉定区に位置する歴史的な儒教の聖地で、歴史的建築物や文化財が保存されており、孔子の教えや中国の古代から近代にかけて行われた官吏登用試験制度である科挙制度等を学ぶことができました。次に、嘉定区役所を表敬訪問しましたが、私達交流団を温かく迎えてくださり、記念品の交換等を行いました。次に、嘉定図書館新館を訪問しました。嘉定図書館新館は、24時間開館されており、無料のWiFiと電源が利用可能であり、非常にたくさんの利用者が居たことが印象的でした。次に、嘉定企画展示館を訪問しました。嘉定企画展示館では、嘉定区の過去、現在、そして未来の都市計画を視覚的に体験しました。特に、未来の都市像を描いた3Dモデルやインタラクティブな展示が印象的で、嘉定区の発展を実感しました。次に、COWAROBOT社を訪問しました。COWAROBOT社は、自動運転技術やスマートシティソリューションにも力を入れており、都市環境での自動運転車両やロボタクシーの開発・運用を行っています。無人運転自動車体験では、最新の自動運転技術を体験しました。特定の条件下で完全に自動運転が可能なレベル4の技術は、未来の交通手段として大きな可能性を感じました。次に、上海自動車博物館を訪問しました。上海自動車博物館は、日本の旧車も含め、クラシックカーから最新の自動車技術まで幅広く展示しており、自動車の歴史と進化を感じることができました。

3日目に南翔老街を訪問しました。南翔老街は、嘉定区南翔鎮に位置する歴史的な観光地で、古い街並みや歴史的建造物が多く残されており、また、小籠包の発祥地としても知られています。私達交流団は、南翔小籠包作りを体験させていただきましたが、生地を伸ばしながら具材を包む作業が非常に難しかったです。生徒たちは非常に上手に作っていたのが印象的でした。次に、上海師範大学附属第五実験学校を訪問しました。校長先生から教育施設と取り組みの説明をしていただき、交流団からは、八尾市の中小企業の取り組みやSDGsについてプレゼンを行いました。その後、クラブ活動を体験させていただき、終わった団員から一人ずつ交流させていただいた生徒の自宅へ訪問するホームビジットを行いました。ホームビジット前には、コミュニケーションが上手く図れるか不安を吐露する団員も居ましたが、終わってみれば全ての団員が満面の笑みでホテルに帰ってきたのが印象的でした。個々の旅行では体験することが出来ない大変貴重な経験をさせていただきました。

生徒たちは、嘉定区の人々との交流を通じて、異文化理解の重要性を再認識し、異なる背景を持つ人々と直接触れ合うことで、視野が広がり、国際的な視点を持つことの大切さを学ぶことが出来たと思います。

最後に、今回の訪問の目的を達成できたのも、人権政策課や上海市嘉定区人民政府ならびに上海師範大学附属第五実験学校の先生方の格別のご高配のおかげです。ここに改めて感謝申し上げますとともに、嘉定区と八尾市の未来と友好関係が益々発展することを期待しつつ、この素晴らしい旅の締めくくりといたします。

